

トピックス 「第29回鉄道総研講演会」を開催しました

鉄道においては、高い安全性を維持するために、車両や構造物など、複雑かつ膨大な設備のメンテナンスに多くのリソースが投入されてきました。これからは、メンテナンスコストの低減を実現しつつ、安全性・安定性を確保し、さらに快適性の向上をはかるなど、新たな価値を創造するメンテナンス戦略が求められています。そこで鉄道総研講演会では、このような社会的背景を受け、「持続可能な鉄道を支えるメンテナンス技術－認知と予測－」をテーマに開催し、鉄道事業者をはじめ官公庁、大学、一般企業から

約650名の方々にご聴講いただきました。

講演会では、まず東京大学生産技術研究所教授・国立情報学研究所所長 喜連川優先生から「ビッグデータによる万物のヘルス」と題した特別講演をいただきました。続いて、持続可能な鉄道を支えるさまざまなメンテナンス技術に焦点を当て、ネットワーク技術やビッグデータの活用、時間基準保全から状態基準保全への転換、認知・予測技術などについて鉄道総研の研究開発の取り組み、ならびに将来に向けた展望について発表しました。

1. 開催日時：平成28年11月9日(水) 10時00分から16時35分
2. 開催場所：有楽町朝日ホール(東京都千代田区有楽町)
3. プログラム

■開会の挨拶

会長 正田英介

■特別講演「ビッグデータによる万物のヘルス」

東京大学生産技術研究所教授/国立情報学研究所所長 喜連川優 様

■基調講演「ICTの活用による鉄道メンテナンス技術の革新」

研究開発推進部長 久保俊一

■「鉄道構造物の劣化予測とメンテナンス技術の革新」

研究開発推進部 主管研究員 佐藤 勉

■「状態基準メンテナンスの高度化による軌道保守の革新」

軌道技術研究部長 村本勝己

■「早期検知と予測技術による鉄道車両メンテナンスの高度化」

車両制御技術研究部長 山本貴光

■「鉄道電力設備のメンテナンスと劣化予測」

研究開発推進部 主管研究員 網干光雄

■「鉄道メンテナンスの革新を支える情報・ネットワーク技術」

信号・情報技術研究部長 平栗滋人

■閉会の挨拶

理事長 熊谷則道



講演の様子